

秋田県聴覚障害者支援センター通信

第13号

2023. 8 発行

みみこみ

Ver.2.0

会館PRフェスティバルについて

当センターが入居している秋田県社会福祉会館において、令和5年8月3日から8月6日の間、会館PRフェスティバルが開催されました。

各入居団体が活動紹介パネルを展示し、たくさんの方に当センターの事業を知っていただくことができました。



7月は日本各地で大雨による災害が発生し、甚大な被害が発生しました。秋田でも14日からの記録的な大雨により、県内各地で浸水、河川の増水や氾濫、土砂崩れ、道路の冠水等の被害が発生しました。自然災害から命を守るために、日頃からの備えが必要になります。

以下のような各省庁などが公開している情報を活用することで、防災知識を身につけ、災害発生のおそれがある時は、迅速に避難できるように対策することが大切です。

食品の家庭備蓄

災害発生時には、電気、ガス、水道などのライフラインが使えなくなったり、物流が機能しなくなる可能性があります。災害発生からライフラインの復旧まで、時間が掛かることが想定されます。

食品の備蓄は、「ローリングストック法」がお勧めです。カップ麺や缶詰等の買い置きしたものを賞味期限の古いものから消費し、食べた分を補充するというものです。生活の一部に取り入れる事で無理なく始められることができます。

非常用持ち出しバッグ

災害発生時は、危険な場所から避難することが原則です。そのため、自宅が被災した時は、避難場所で避難生活を送ることになります。

避難所生活で必要となるもの（非常用持ち出し品）を詰め込んだ非常用持ち出しバッグを用意することで、いつでもすぐに持ち出せるようになります。

また、市町村が指定する避難場所、避難所が変更されていることもあるため、最新の情報を市町村のホームページ等で確認するようにしましょう。

特別警報

特別警報とは予想される現象が特に異常であるため、大災害が起こるおそれがあるときに、その旨を示して行う警報のことをいいます。

特別警報が発表された地域は、これまで経験したことのないような大雨や暴風等、非常に危険な状況にあるため、市町村の避難情報に従う等、適切な行動をとることが重要になります。

防災ポータルサイト



様々な種類の災害情報をまとめて取り扱うサイトです。

想定される被害状況やハザードマップ等の確認、災害の基礎知識や災害時に身を守るための知識を見ることができます。

一人ひとりが自分の身の安全を守る

災害による被害を少なくするためには、一人ひとりが自ら取り組む「自助」、地域や身近にいる人同士が助け合って取り組む「共助」、国や地方公共団体などが取り組む「公助」が重要だといわれています。

防災対策には、一人ひとりが平時から災害リスクを認識し、被害をできるだけ少なくするために必要な対策を講じる必要があります。

災害に対する意識を高め、災害時に適切な対応ができるよう、日頃から備えるようにしましょう。

秋田県手話通訳者養成研修会

★手話通訳Ⅰ ○開催地：大館市 ○受講生：11名

○期 間

令和5年5月13日～11月18日 14／32回

★手話通訳Ⅱ ○開催地：横手市 ○受講生：7名

○期 間

令和5年5月14日～11月12日 15／30回

★手話通訳Ⅲ ○開催地：秋田市 ○受講生：11名

○期 間 令和5年6月17日～10月1日 6／10回

秋田県要約筆記者養成講座(パソコン)

○開催地：秋田市 ○受講生：9名

○期 間

令和5年5月14日～10月29日 10／20回

秋田県盲ろう者向け通訳・介助員養成講座

○開催地：大仙市 ○受講生：12名

○期 間

令和5年5月20日～7月29日 9／9回

令和5年度 派遣事業 実施状況

(単位：人)

	手話通訳				要約筆記				盲ろう者向け通訳介助			
	4月	5月	6月	7月	4月	5月	6月	7月	4月	5月	6月	7月
市町村事業	22	5	18	12	0	2	0	2				
県事業	2	11	7	37	6	5	0	27	14	17	23	15

発行元：〒010-0922 秋田県秋田市旭北栄町1-5

秋田県社会福祉会館5階 秋田県聴覚障害者支援センター

TEL:018-874-8113 FAX:018-862-1820

MAIL:akita-chokaku@fukinoto.or.jp